

埼玉県生協連 2019 年度第 4 回活動委員会

日時	2020 年 2 月 14 日 (金) 13 時 30 分～16 時 00 分
場所	埼玉県生協連会議室
出欠	別紙参照
次第	1.出欠報告 (事務局)

■議題

専務理事あいさつ

I. 話したいこと

1. 2019 年度事業活動報告と 2020 年度事業活動計画 (活動委員会版)	当日資料	P 1-10
2. 2020 年度の活動委員会会場について	当日資料	P11
3. 各生協の 2020 年度活動計画についてのワーク	当日口頭	
4. 埼玉県生協連学習会・交流会等日程およびテーマ (案) 一覧	事前資料	P 1- 3
5. 2020 年度年間日程 (活動委員会版)	当日資料	P12
6. 1-2 月活動報告書と各会員生協資料	当日別冊	

II. 日本生協連からの報告 (中央地連)

III. 確認したいこと

1. 関東農政局との懇談について	当日資料	P13-14
2. 埼玉新聞「生協特集」(2020 年 3 月予定)企画案	事前資料	P 4
	当日差替	P15
3. 第 56 回埼玉県消費者大会実行委員会ご案内	事前資料	P 5- 6
4. 2/28 第 2 回組合員学習会ご案内再掲	事前資料	P 7
5. 埼玉県生協連メルマガ「Information」(仮称)について	事前資料	P 8
6. 埼玉県生協連ホームページリニューアルについて (12/26 実施)	事前資料	P 9-10
7. 消費者アップ学習会 Vol. 3「高齢者施設の選び方」ご案内	事前資料	P11

IV. 報告したいこと

1. 業務報告		
(1) 埼玉県生協連 12・1 月度のまとめと今後の課題	事前資料	P12-17
2. 個別報告		
(1) 消費者被害防止サポーターの活動と市町村消費生活センターとの連携	事前資料	P18-24
(2) 埼玉県令和元年度上半期の消費生活相談の概況	当日別冊	
(3) 組合員活動交流会報告 (12/12)	事前資料	P25
(4) 助け合い活動交流会報告 (1/17)	事前資料	P26
(5) JA 女性組織協議会との早春交流会報告 (2/12)	当日資料	P16
(6) 第 10 回九都県市合同防災訓練・図上訓練参加報告	事前資料	P27
(7) 県内消費者団体地区別研修会報告	当日資料	P17
(8) ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会報告 (2/5)	当日資料	P18
(9) 埼玉県議会会派との懇談報告	事前資料	P28-29
(10) 2020 年度埼玉県食品衛生監視指導計画 (案) に対する意見	事前資料	P30
(11) 平和のための埼玉の戦争展でノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会が開催する親子企画について	事前資料	P31-34
(12) 埼玉県食品安全局との懇談報告 (1/30)	事前資料	P35

V. 報告したいこと②文書報告

1. 埼玉県生協連 2019 年度第 3 回活動委員会報告(12/12)
2. 埼玉県生協連 2019 年度第 4 回理事会報告(1/16)
3. 2020(令和 2)年埼玉県生協連新春賀詞交換会報告(1/16)
4. 活動日誌と予定

事前資料 P36

事前資料 P37

事前資料 P38

当日資料 P19-21

次回の活動委員会は、2020 年 4 月 16 日 13 時 30 分～

2019年度 第4回活動委員会（2月14日）

メンバーと出欠（敬称略）

生 協 名	氏 名	役 職	出欠	備 考
埼玉県生協連	吉川 尚彦	会長理事	○	
同上	大久保美紀	常務理事	○	
コープみらい	境 由華	理事	○	
同上	本多 達	参加とネットワーク推進部 部長	○	
パルシステム埼玉	佐藤 節子	理事	○	
同上	石川 誠	組織運営部 部長	○	
生活クラブ生協	下川 美紀	理事	欠	
同上	中村 泰介	活動推進部活動広報課	○	
医療生協さいたま生協	高橋 順子	理事	欠	
同上	牛渡 君江	統括部長	○	代理：村崎郁子
埼玉県労働者共済生協	塩崎 輝幸	事業推進部 部長	○	
東都生協	荒井 伸幸	組織運営部 部長	○	
事務局	加藤 一彦	事務局長	○	
同上	清水 勤	事務局	○	
同上	清水 桂	事務局	○	
日本生協連中央地連	大田 英夫	担当事務局	○	

第 1 号議案

2019 年度事業活動報告、決算報告および剰余金処分案承認の件

I. 2019 年度事業活動報告

1. 2019 年度をふりかえって

(1) 消費税増税や台風被害の中、県内生協では組合員のニーズに応え、事業と活動を進めました

- ① 10 月からの消費増税など厳しい環境の中で、会員生協組合員は●〇〇万人（前年〇〇）となり、事業高は 1,〇〇●億円と前年並みを確保しました。
- ② 台風 19 号による被害対応では、坂戸市の避難所への物資支援（コープみらい）、東松山市社協の要請に応え職員がボランティア支援（パルシステム埼玉）、事業所と支部組合員による避難所での炊き出し（医療生協埼玉）、全国から職員が集まり被害調査や被災者対応（埼玉労済生協）などを行いました。

また、全国の生協・組合員から寄せられた募金から、1,118 万 8,046 円を埼玉県に寄付しました。

(2) SDGs の目標達成に向けて、3 つのテーマを重点に年間を通して取り組みました

- ① 核兵器廃絶など平和に関しては、昨年から引き続いてヒバクシャ国際署名に取り組み、〇万筆を上乗せすることができました。消費者大会プレ学習会で憲法について学習しました。
- ② 子どもの貧困や生活困窮者支援では、各生協でのフードドライブの取り組みや子ども食堂など地域連携がさらに進みました。生協での助け合い活動は、2019 年度 2 万●千時間となり、昨年より〇〇となりました。地域での健康づくりでは、生協どうしが協力することで、取り組みが広がりました。

また、自治体との地域見守り協定は、パルシステム埼玉〇自治体、医療生協さいたま●自治体となりました。※コープみらいは全市町村と締結済みです

- ③ 地域での消費者被害防止の取り組みでは、各生協の協力の中で、消費者被害防止サポーターの養成を進めました。

(3) 会員生協との共通認識づくりを大切に、学習と交流、社会への発信、諸団体との連携を進めました

- ① 地域の見守り活動をテーマに交流に時間を取って開催した第 1 回組合員学習会、組合員リーダー層を対象に会議や組織運営のノウハウを体験した組合員活動交流会、関心の高いプラスチック問題の特徴を学んだ第 2 回組合員学習会、広がりを見せている助け合い活動の交流会、CSF をテーマとした埼玉県食品安全局との懇談会（埼玉消団連）、ゲノム編集食品をテーマとした関東農政局との意見交換会（埼玉消団連）など、組合員・消費者の関心やニーズをふまえた学習と交流を行いました。

- ② 活動委員会や災害対策委員会での話し合いを通して、九都県市合同防災訓練や彩の国ドリームフェスタでは、参加生協が連携・協力してブース出展を行いました。

2. 各分野の活動

(1) 食の安全の取り組み（埼玉消団連としての活動も含めて）

- ① 2018 年度に埼玉消団連が提出した埼玉県・政令市・中核市（川越・越谷・川口）の食品衛生監視指導計画について、消費者大会実行委員会として、とくに中核市の監視指導について体制を確保して進めるよう要請し、懇談しました。また、2020 年度の計画について、埼玉消団連として意見を提出しました。
- ② 埼玉県食品安全局との懇談会を埼玉消団連として実施しました。CSF、食品衛生監視指導計画や HACCP（ハサップ）の取り組みなど埼玉県の施策をテーマに懇談しました。
- ③ 関東農政局との意見交換会を埼玉消団連として実施しました。ゲノム編集食品をテーマに、グループ討議と質疑応答を行いました。
- ④ 埼玉県食の安全県民会議に代わる「埼玉県食の安全推進委員会」に消費者代表委員 2 人を推薦しました。

(2) 福祉の取り組み

- ① 第 1 回組合員学習会では子どもの貧困や生活困窮者への支援など、地域の見守り活動をテーマに開催しました。各生協の多様な取り組みを共有し、つながりを広げることができました。
- ② 助け合い活動交流会は、各生協の福祉助け合い活動について、活動のしくみと活動事例について報告し合い、互いの活動を交流しました。
- ③ フードライブの取り組みは、●生協で、●箇所（常時）、●回（随時）と広がっています。寄せられた物資は県内生協全体で●キログラムとなりました。埼玉県生協連は、フードバンク埼玉の一員としてイベント出展時や大学生の研修受け入れの際の講師派遣などに協力しました。
- ④ 3 都県連主催（東京・千葉・埼玉）としては初めてとなる公開学習会を、福祉事業をテーマに開催しました。また、埼玉県委託事業・役職員研修会ではとして、福祉事業の今後を考える学習会を開催しました。
- ⑤ 埼玉県が呼びかける「こども応援ネットワーク埼玉」に県生協連として登録し、取り組みへの参加や告知などに協力しました。
- ⑥ ユニセフ活動では、ハンド・イン・ハンドに参加しました。

(3) 環境・エネルギーの取り組み

- ① 組合員・消費者の関心の高いプラスチック問題について、学習と交流を行いました。
 - ・ 第 2 回組合員学習会では、国立環境研究所の田崎智宏さんを講師に「SDGs の国内展開とプラスチック問題」と題して講演いただき、〇〇でした。
 - ・ 消費者大会の環境分科会では「No！マイクロプラスチック～埼玉県民が海を救う～」と題して、（一社）JEAN の小島あずささんを助言者に迎え、プラスチックごみの現状や埼玉県の取り組みなどを学びました。

- ・ 県内消費者団体地区別研修会(4会場)では「プラスチック問題の現状を学ぶ」と題して、身近にできることを考えあうワークショップを行いました。
- ② 埼玉県が新たに立ち上げた「埼玉県食品ロス削減ネットワーク会議」、「埼玉県プラスチック問題対策協議会」に消費者代表委員各1人を推薦しました。埼玉県の次期地球温暖化対策実行計画大綱の策定に向けて、審議会・委員会で生協の取り組みなどを発信しました。
- ③ 9回目となるさよなら原発埼玉県民集会の実行委員会に参加し、開催に協力しました。また、再生可能エネルギー事業や脱原発、福島避難者との交流などに取り組んでいる団体との2回目の交流会を行い、地域での電力供給の取り組みなど交流しました。
- ④ 埼玉エコ・リサイクル連絡協議会主催の交流集会に参加しました。

(4) 消費者被害防止などのための消費者行政充実の取り組み

- ① 消費者被害をなくす会とともに、消費者被害防止に取り組みました。
 - ・ 消費者被害防止サポーターの確保と養成に向けて、講座や研修を継続して行い、サポーターは2019年度末で〇〇人の登録となっています。
 - ・ サポーターが啓発活動など地域で行動するために、市町村職員へのサポーター活動への理解促進や、啓発活動への協力の働きかけを目的に市町村訪問活動を行い、サポーターと市町村との連携を広げました。
 - ・ 消費者安全確保地域協議会の設置に向けて市町村への働きかけを進めました。
- ② 消費者大会実行委員会として、今年21回目となる県内市町村消費生活関連事業調査に取り組みました。全市町村から回答をいただき、内容を冊子にまとめ、関係団体に配布しました。
- ③ 消費者契約法の改正に向けた意見募集(パブコメ)に対して、意見を提出しました。

(5) 平和の取り組み

- ① 2018年度から継続してきたヒバクシャ国際署名は〇〇となりました。久方ぶりに組合員署名に取り組んだ生協、職員の学習会を継続して行った生協など、各生協が工夫して取り組みました。日本生協連ピースアクションへの参加生協も広がり、NPT再検討会議には県内3つの生協から代表が参加します。
- ② 7月27～29日「2019 平和のための埼玉の戦争展」が浦和コルソホールで行われました。開催にあたっては各生協からの分担金協力のほか、会場設営・受付スタッフとして運営を支えました。
- ③ 7月28日、「第34回埼玉県原爆死没者慰霊式」を開催しました。埼玉県内原爆死没者名簿には今年度あらたに88人が記載され、1,617人の名簿が奉納されました。
- ④ 2019ピースアクションinヒロシマ・ナガサキへ埼玉県生協連職員を派遣しました。現地で開催された虹のひろばに参加し、全国の取り組みを学びました。
- ⑤ 日本生協連が呼びかけたNPT再検討会議への被爆者の参加支援を目的とした募金に、県生協連として5万円を寄付しました。
- ⑥ 平和・市民5団体懇談会を●回開催し、県内での平和活動の取り組みについて意見交換を行いました。

(6) 協同組合間提携の取り組み

- ① 協同組合間提携推進協議会として次のことに取り組みました。
 - i) 「体験稲刈り & 田んぼの生きもの調査」に取り組み、生協組合員 16 家族 56 人が参加しました。
 - ii) J A 組合員の担い手を育成することを目的とした TAC(タック)の審査会に審査委員として協力しました。
 - iii) 彩の国ドリームフェスタに県生協連と会員生協がブース出展し、SDGs をテーマにスタンプラリーで連携し、多くの参加者が立ち寄りました。
 - iv) 協同組合間交流を目的に、J A 女性組織協議会と会員生協組合員リーダー層を対象に「早春交流会」を開催しました。女性の視点での防災をテーマに学習とグループワークでの意見交換などで、交流を深めました。
 - v) 代表者会議では、各組織の取り組みを共有し、今後につながる協議となりました。
- ② 今年で9回目となる「2019 コヨット in 埼玉」を9月14・15日の2日間で開催し、13組30人が参加しました。ムーミンバレーパークや鉄道博物館の見学、埼玉県ユニセフ協会による「貿易ゲーム」、ボーイスカウト埼玉県連盟によるバス内での「ゲーム・クイズ」など、参加者からも好評でした。なお、この取り組みは今年度で終了となります。
- ③ 埼玉労福協が実施している埼玉県知事要請に、生協としての要望を盛り込み、県との懇談会に参加しました。
- ④ 地域での健康づくりとして、医療生協さいたまと県生協連との共催で「2019年ヘルスチャレンジ」に取り組みました。会員生協に呼びかけて、〇〇。また、会員同士の学びあいが広がりました。

(7) 防災・減災の取り組み

- ① 災害対策委員会を●回開催しました。台風被害の経験から、災害時の情報の受発信の流れや進行型災害への対応も視野に入れ、発災初期の行動を重視した内容に見直すことが課題です。
- ② 九都県市合同防災訓練は8月31日和光市で開催され、防災フェアに7生協が出展参加しました。参加内容は、①防災クイズ、②応急生活物資配布訓練（飲料・お菓子・ウェットティッシュ）、③握力チェックで、多くの参加者に喜ばれました。また、九都県市図上訓練に参加しました。
- ③ 日本生協連が呼びかけた台風19号被害緊急支援募金に、県生協連として20万円を寄付しました。
- ④ 災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」に参加し、情報共有を行いました。

3. 生協の認知度を高めるための取り組み

(1) 広報活動

- ① 「県連情報」は記事掲載期間を毎月1日～月末に変更し、翌月5日頃発行としました。また、2020年度からのPDF配信（紙による配布の終了）に向けた準備を進めました。
- ② 「写真ニュース」および広報紙「さいたまの生協」を発行し、渉外活動等にも活用

しました。

- ③ ホームページは、開催案内・開催報告・お知らせがわかりやすく伝わることや、一般非公開で会議資料・報告文書・各種フォーマットなどを掲載できる会員生協専用ページの新設、スマートフォン対応の新設などの改修を行いました。
- ④ マスコミリリースでは生協の取り組みと SDGs の関連をテーマに埼玉新聞に広告を掲載しました。埼玉消団連・消費者被害をなくす会含め、報道は〇件でした。
- ⑤ 予定していたマスコミ支局長との懇談会は開催できませんでした。

(2) 渉外活動

- ① 埼玉県と埼玉県生協連定期協議を 2 回行いました。第 1 回では「2020 年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望」を提出したほか、埼玉県からは今年度の生協検査などに関する発言がありました。第 2 回では〇〇。
また、埼玉県の生協検査に対応しました。
- ② 県議会の 3 つの会派による「2020 年度埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望のヒヤリング」に参加しました。また、会派懇談会を実施し、生協への理解促進と意見交換を行いました。
- ③ 新春賀詞交換会を開催し、会員生協と行政、議会、マスコミ、県内諸団体との関係づくりにつなげました。

4. 埼玉県消費者団体連絡会と埼玉消費者被害をなくす会の事務局機能の取り組み

(1) 消費者力を高めるための県内の消費者団体との連携強化

- ① 55 回目となる埼玉県消費者大会には 500 人が参加しました。実行委員会団体の参加感を大切に、内容と運営について話し合いを積み上げ、地域団体からの副実行委員長も加えて開催することができました。また、大会で確認した埼玉県への要請書に基づいて、埼玉県との懇談会を実施しました。
- ② 埼玉消団連は、埼玉県委託事業の県内消費者団体全体研修会を 8 月に開催しました。一般参加も募集し、「コミュニケーションスキルアップ」講座として一般参加 16 人、計 82 人の参加でグループワークしました。

(2) 埼玉消費者被害をなくす会の活動を支え発展させる事務局機能

- ① 事務局団体として、会の活動と運営をサポートしました。
- ② 会計管理の精度向上のために NPO 法人会計を学習し、事業費と運営費の区分等を見直しました。
- ③ 会の財政基盤となる団体会員・個人会員を拡大する取り組みは着手できませんでしたが、会員数はほぼ前年並みを維持しました。

第2号議案

2020年度事業活動計画および予算決定の件

I. 2020年度事業活動計画

1. 情勢の特徴

(1) 世界の動き

- ① 世界全体が向き合うべき課題として、SDGs が共通認識となってきました。SDGs は、経済成長（GDP 伸長）だけに価値をおくのではなく、17 の多様な目標のいずれにも価値を認める社会こそ、持続可能な社会であることを示しています。
- ② 気候変動による自然災害が脅威を増しています。CO2 を「今世紀後半に実質ゼロ」にすると合意したパリ協定や、日本生協連が 2030 年に目標とする 2013 年度比 30%削減に向けて、取り組みはまったなしの状況です。
- ③ 平和をめぐっては、地域紛争、核兵器廃絶に背を向ける核保有国の動き、AI の兵器利用が進む中、世界終末時計は「残り 100 秒」とさらに短くなりました。一方で、核兵器禁止条約は、発効の条件である 50 カ国の批准に向けて 35 カ国となりました。NPT 再検討会議の成功に向けて取り組んできたヒバクシャ国際署名は、県内生協で約 14 万筆、埼玉県内で約 32 万筆となりました。

(2) くらしと地域社会の状況

- ① 人口減少と少子高齢化がさらに進んでいきます。2020 年には、高齢者人口 197 万人、そのうち後期高齢者率は 98 万人に達すると予測されています。埼玉県の特徴は、単身・2 人世帯の急速な増加、都市部や農村部など地域ごとの違いが大きいことです。
- ② 人口減少と少子高齢化により、県内生協の主な事業である医療・介護・保育・小売り・運輸部門での人手不足、生活インフラの整備への影響をはじめ、地域社会の活力の低下が心配されています。また、2025 年に向けた地域医療構想や地域包括ケアシステムの進捗遅れや、医療・介護における負担増が懸念されます。
- ③ 一方で、厚生労働省が提唱する「地域共生社会」や環境省が提唱する「地域循環型共生圏」など、地域における協同の社会システムを志向する動きも出てきています。県内では、所沢市に続いて秩父市でも、市が出資する新電力株式会社が設立されました。
- ④ 消費税増税と社会保障費等の負担増で、くらしの厳しさと将来不安がさらに増していきます。組合員の節約志向が強まり、生協事業への影響が懸念されます。また、税金を財源としたキャッシュレス決済ポイント還元策に続いて、マイナンバーを活用した新たな制度が検討されており、公平な制度となるよう注視が必要です。
- ⑤ 食をめぐっては、一元化された食品表示がスタートします。一方で、ゲノム編集食品については表示義務がなく、消費者の選択する権利に関わる問題となっています。大消費地を持つ埼玉県にあっては耕作放棄地は 1 万 3000ha（旧浦和・与野の広さに該当）におよんでおり、世界的な人口急増の中で日本の食料自給率は 37%と、危機的な状況とされています。

- ⑥ この間、県内の消費者被害は高齢者の被害増加が顕著でしたが、民法改正で成年年齢が18歳に下がることから、若年層への消費者教育・対策強化に早めに取り組むことが課題となっています。
- ⑦ 災害の少ない埼玉県でしたが、昨年の台風災害を機に、今後は起きることを想定し、物資等の備蓄・運搬、事業継続のための電源や生活を支える電力の確保、発災時の情報の受発信と共有、ボランティアの受援対応など、現実感を持った対策が必要となっています。

2. 大切にすること

(1) SDGs を基調にして

SDGs への組合員・消費者の期待と関心が高まり、学びと実践がはじまっています。生協は相互扶助・助け合いの精神から生まれた組織です。「誰ひとり取り残さない」持続可能な社会の実現に向けて、地域での課題解決と地域社会づくりに参加します。

(2) 県連の役割に基づいて

2001年に策定した「21世紀初頭 埼玉県生協連のあり方」に基づき、機関会議（理事会、小委員会）での共通認識づくりを大切にしたい組織運営を進めます。役職員研修、組合員学習会など学びと交流を通じて、会員参加の共同活動を広げます。会員県内生協の多様性を活かし、総合力を発揮し、地域に役に立つ取り組みを進めます。また、埼玉県生協連創立50周年記念事業（創立日1972年6月27日）の実施に向け、基本方針策定と検討組織をつくりまします。

(3) 生協連帯と協同組合連携を軸に

2020年代がスタートする今年は「日本生協連の2030ビジョン」が策定されます。「つながる力で未来をつくる」（2030ビジョンフレーズ案）にあるように、生協どうしの連帯や協同組合間の連携を大切に、協同の社会システムへの信頼を醸成していきます。

3. 重点とする課題

(1) 地域の多様な見守り活動を重点とします

安心してらせる地域社会をめざし、とくに、地域の特徴に応じた多様な見守り活動を広げることを重点とします。また、組合員の高齢化も進んでいる中、昨年から会員共同活動として始めた地域での健康づくりの取り組みをさらに広げまします。

(2) NPT 再検討会議が開かれる今年、平和の取り組みを推進します

組合員のくらしも生協事業も、平和であってこそ、です。NPT再検討会議での実効性ある成果をめざし、県内の被爆者団体（しらすぎ会）や会員生協から代表が参加し、現地で活動します。平和への思いや願いを込め、次世代に継承する視点を大切にして、NPT再検討会議が開かれる年にふさわしい取り組みを進めます。

(3) 地域社会づくりを進めるために、幅広い県内ネットワークづくりを推進します

地域社会づくりは生協だけでできるものではありません。自治体との「地域見守り協定」や埼玉県・自治体との「包括連携協定」など、行政をはじめ県内の諸団体と連携・協力し、それぞれの良さを活かしながら、生協の役割を発揮していきます。

4. 各分野の取り組みを通じて、地域社会づくりを推進します

(1) 食に関する取り組み

- ① 食中毒防止に向けて、2021年の食品衛生監視指導計画への意見を提出します。
- ② 組合員・消費者の関心に基づいた学びの場を設定します。
- ③ 埼玉消団連が取り組む埼玉県食品安全局との懇談、関東農政局との意見交換会への会員生協の参加を呼びかけ、役割を担います。
- ④ 会員生協の食育の取り組みを交流し、社会に発信します。

(2) 地域の見守りに関する取り組み

- ① 貧困・格差問題では、この間取り組んできた「子ども未来アクション」を通じた学びや、フードドライブなど会員生協の取り組みを交流します。また、県内に広がっているフードパントリーの取り組みを共有し、できることを検討します。
- ② 地域包括ケアシステムの構築に向けて、会員生協の助け合い活動や多様な地域の居場所づくりを共有し、社会に発信します。
- ③ 地域の見守り活動のひとつとして、消費者被害防止サポーターの取り組みや、サポーターと市町村行政の連携事例を生協内で共有し、活動を支援します。また、行政や諸団体、大学生協などと協力して、若年層の消費者被害防止に向けた学習会を検討します。
- ④ 地域での健康づくりは、「埼玉まるごとヘルスチャレンジ」とし、会員生協の取り組みを支援します。県民参加の広がりをイメージし、関係諸団体の参加・連携・協力を呼びかけます。また、フレイル予防や減塩など学びの場を広げます。地域生協ごとのサポーター養成を呼びかけます。
- ⑤ 県内市町村との「地域見守り協定」締結を後押しします。
- ⑥ 会員生協と共催による県生協連会議室（1階コミュニティルーム）を活用した居場所づくりを検討します。

(3) 環境やエネルギーに関する取り組み

- ① CO2削減、食品ロス削減、プラスチック問題、エシカル消費などの学びを基礎に、家庭でのくらしの見直しを支援します。そのひとつとして、埼玉県が進める「エコライフDAY埼玉」への組合員・消費者の参加を広く呼びかけます。
- ② 会員生協のエネルギー供給事業の交流を検討します。また、地域電力事業や原発に頼らない社会づくりに取り組む県内団体との交流会や県民集会の開催に向けた実行委員会に参加し、協力します。を開催します。

(4) 平和や国際活動に関する取り組み

- ① NPT再検討会議に参加する被爆者団体と生協代表による報告会を兼ねた「ピースフォーラム2020」を開催し、会議の成果と今後の課題を共有します。
- ② 被爆体験の聞き書きの取り組みを継続するとともに、次世代への継承の視点で、「ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会」の取り組みについて学習する機会をつくれます。また、生協や諸団体による「ヒバクシャと出会えるカフェ」の場づくりを支援します。
- ③ しらさぎ会が主催する埼玉県原爆死没者慰霊式の実行委員会への参加について、平

和・市民5団体の一員として呼びかけ、式典を支援します。また、慰霊式当日に開催される実行委員会主催の「被爆75周年記念企画」に協力します。

- ④ 「平和のための埼玉の戦争展」の常任委員会団体として開催を支え、組合員の参加を呼びかけます。
- ⑤ ユニセフの取り組みをはじめ、各生協の国際貢献・国際交流の活動を共有します。
- ⑥ 憲法については改定論議の状況に応じて、組合員が主体的に考え判断できる学習の場を設定します。

(5) 消費者課題に関する取り組み

- ① 埼玉消団連幹事団体・県域団体・地域団体・生協でつくる実行委員会主催方式で、第56回埼玉県消費者大会を開催します。
- ② 消費者大会実行委員会が行う「県内市町村消費生活関連事業調査」を受けて、組合員理事を中心にいくつかの市町村を訪問し、消費者行政をテーマに懇談します。
- ③ 消費者被害をなくす会の活動や、埼玉県から受託する事業を支援し協力します。
- ④ 全国共通の重要課題について情報共有し、必要に応じて学びの場を設定します。

(6) 防災・減災や復興支援に関する取り組み

- ① 中央地連や全国・県段階のボランティア団体との活動交流、災害対策委員会での取り組みの共有から、災害時の県生協連の役割と行動を明確にしていきます。
- ② 九都県市合同防災訓練（川口市予定）に会員生協とともに参加します。
- ③ 埼玉労福協が取り組む、福島からの埼玉県内避難者への支援に協力します。

(7) 生協への認知と理解、共感を広げる取り組み

- ① 「さいたまの生協2020」を県生協連総会時に発行します。「写真ニュース」は年4回発行します。
- ② 県連情報は、埼玉県生協連メルマガ「information」（仮称）と改名し、紙媒体から月1回のメール送信に変え、タイムリーな情報提供をめざします。
- ③ ホームページは、昨年の改修に続き、組合員や消費者・県民がWeb参加できる仕組みやスマートフォン対応できるよう準備を進めます。
- ④ 埼玉県議会の各会派と、2021年度埼玉県予算要望に関するヒヤリング（夏頃）および会派懇談（12月頃）を実施します。県内生協の事業や活動への理解を促進し、生協の要望を伝えます。
- ⑤ 県内マスコミ支局長の懇談会を開催し、機会を捉えて施設見学等につなげていきます。

(8) 理事会小委員会の運営

- ① 活動委員会は、参加生協の学びあい、交流、連携を目的に、会場を順番・持ち回りとし、聞きたい・話したい内容を大切に開催します。また、必要に応じて、活動委員会主催によるテーマ学習会を検討します。
- ② 大学生協部会は、年2回開催します。また、学生組合員と地域・医療生協組合員が交流できる場など、県生協連との共催企画を検討します。
- ③ 災害対策委員会は、災害対策の交流、災害時の県生協連の役割協議、県の施策の把握と意見交換、九都県市防災訓練対応などをテーマに年3回の開催を予定します。

5. 幅広い県内ネットワークづくりを推進します

(1) 行政との連携

- ① 埼玉県行政との定期協議を年 2 回開催します。2021 年度埼玉県予算と執行について、県生協連としての要望を提出します。
- ② 埼玉消団連と協力し、各種審議会・委員会に参加し、生協や消費者としての意見・提案に取り組みます。
- ③ ~~必要に応じて、食、消費者、環境、助け合いや見守り・防災・減災などをテーマに、埼玉県の施策を学ぶ場を設定します。~~

(2) 協同組合どうしの連携

- ① 埼玉県協同組合間提携推進協議会では、農業体験企画、女性組織協議会と共催による学びと交流、代表者会議、TAC の取り組みへの協力などを通して相互理解を促進します。
- ② 埼玉労福協の一員として、会議や学習会、県への要請行動などに参加します。
- ③ 日本協同組合連携機構（JCA）の活動に学び、埼玉協同・連帯ネットワークに協力します。協同組合どうしの相互理解と共通課題の共有を目的として、~~JA、ワーカーズ、労福協、生協などが連携し、埼玉県内協同組合研修会（仮称）を開催します。~~

(3) 消費者団体との連携

- ① 埼玉消団連の事務局を担い、幹事会を毎月開催し、審議会や委員会の内容や全国的な課題について共有します。また、地域の消費者団体がいっしょに学び、日頃の活動交流を深め、共通課題の共有と活動に活かすことを目的に、県内消費者団体研修会と地区別研修会を開催します。
- ② 消費者被害をなくす会の運営と実務を主な役割として、事務局を担います。また、会員拡大のための取り組みを計画します。

(4) 協同組織や諸団体との連携

- ① フードバンク埼玉とともにキャンペーンに取り組み、団体と活動の認知度を高め、ネットワークを広げます~~参加する団体・個人を広げます。~~
- ② 災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」に参加します。
- ③ 埼玉平和・市民 5 団体懇談会に参加し、埼玉県原爆死没者慰霊式の事務局を担います。
- ④ 埼玉県ユニセフ協会に理事・評議員として参加します。

6. 県生協連の業務の充実に向けて

- (1) 生協内外の学習など職員の研修を積極的に進め、専門力量の向上と業務の充実をはかります。
- (2) デジタル化が加速する中、働き方や作業省力化の視点で業務の改善に取り組みます。

今後の活動委員会会場について（案）

2月14日 埼玉県生協連

1. 提案の趣旨（目的）

- (1) お互いの活動をより理解するために、活動委員会に参加している会員生協の施設をまわり、活動委員会を開催します。
- (2) 開始は、2019年度第5回活動委員会(4/16)からとして、次の順番で行います。

2020年 4月16日(木)	第5回活動委員会	コープみらい
2020年 6月 4日(木)	第6回活動委員会	パルシステム埼玉
2020年 8月27日(木)	第1回活動委員会	埼玉県生協連会議室
2020年10月15日(木)	第2回活動委員会	医療生協さいたま
2020年12月16日(水)	第3回活動委員会	生活クラブ生協
2021年 2月18日(木)	第4回活動委員会	埼玉労済生協
2021年 4月14日(水)	第5回活動委員会	コープみらい
2021年 6月 3日(木)	第6回活動委員会	パルシステム埼玉

2. 提案の内容

- (1) 各生協の施設をお借りして会議を行うとともに、会場となった生協から施設の紹介や見学、活動の紹介などを行う時間を取ります。
- (2) 実施時間は、現在の13時30分～16時を基本とします。内容によって終了時間を延長することがあります。

3. 提案の補足

- (1) 会場の手配は、活動委員にお願いします。手配後に必要な手続きなどについては、埼玉県生協連事務局にご指示ください。
- (2) 会場の選定は、各生協でお任せします。
- (3) 当日の会議資料準備や会場の設営、飲み物の準備は埼玉県生協連が行います。お湯などの準備でご協力をお願いすることがあります。
- (4) 会場費については、各生協の定める額をお支払します。

	2020 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2021 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
埼玉県生協連	総会		18 日(木) 15 時												24 日(木) 15 時
	理事会		21 日(木) 15 時	16 日(木) 15 時		17 日(木) 15 時		19 日(木) 13 時 30 分		14 日(木) 15 時 30 分	18 日(木) 15 時	20 日(木) 15 時			24 日(木) 13 時 30 分
	常務理事会		14 日(木) 15 時	2 日(木) 15 時		3 日(木) 15 時		12 日(木) 15 時	24 日(木) 15 時		11 日(木) 15 時	13 日(木) 15 時			
	監事会	24 日(金) 10 時 30 分	12 日(火) 10 時 30 分	18 日(木) 総会終了後											
	活動委員会	16 日(木) 13 時 30 分	4 日(木) 13 時 30 分	27 日(木) 13 時 30 分	26 日(水)		15 日(木) 13 時 30 分	16 日(水) 13 時 30 分	18 日(木) 13 時 30 分		10 日(水)	14 日(水) 13 時 30 分			3 日(木) 13 時 30 分
	災害対策委														
	大学生協部会		28 日(木)				29 日(木)	19 日(木) 10 時～12 時			19 日(金)			27 日(木)	
	役職員研修		協同組合連携 調整中						交流会(仮称) 2 日(水)			候補日 3・4・5			
	組合員学習			9 日(木)						14 日(木)					
	役員推薦委	4/25～5/10 書面開催											30 日(金) 16 時		
日本生協連	賛詞交換会														
	総会		12 日(金)												18 日(金)
	地運運営			21 日(火)		23 日(水)		24 日(火)		26 日(火)		25 日(木)			
	県連推進			15 日(水)		23 日(水)		24 日(火)		26 日(火)		未定			
	組合員活動	9 日(木)		未定		未定			未定						
	行政会議						未定								
	全国方針検討									12～13 日					
	賛詞交歓会									12 日(火)					
	議案検討会											25 日(木)			
	総会		23 日(火)												22・23 日
なくす会	理事会		26 日(火)	17・22 日		29 日(火)		20 日(金)		22 日(金)		23・29 日		25 日(火)	
	検討委員会	24 日(金)	26 日(火)	26 日(金)	21 日(金)	29 日(火)	22 日(木)	20 日(金)	18 日(金)	22 日(金)	22・25 日	23・29 日	20 日(火)	25 日(火)	28 日(月)
	活動委員会	8 日(水)	11 日(月)	5 日(金)	8 日(水)	29 日(土)	8 日(木)	9 日(月)	11 日(金)	13 日(水)	12 日(金)	9 日(火)	6 日(火)	13 日(木)	4 日(金)
	幹事会	9 日(木)	18 日(月)	8 日(月)	10 日(金)	7 日(金)	22 日(木)	17 日(火)	17 日(木)	15 日(金)	16 日(火)	16 日(火)	8 日(木)	14 日(金)	11 日(金)
	実行委員会	23 日(木)	25 日(月)	25 日(木)	14 日(火)	19 日(水)	16 日(火)	26 日(金)				26 日(金)	22 日(木)	21 日(金)	17 日(木)
	全体研修					28 日(金)									
	地区別研修									21 日(木) 25 日(月)	3 日(水) 8 日(月)				

上記以外の埼玉県生協連関係の取り組み：助け合い活動交流会 9/18(金)、組合員活動交流会(仮称)12/2(水)、ピースフォーラム(NPT 再検討会議報告含む)候補日 7/16(木)、9/2(水)、埼玉県食安安全局懇談 2/26(金)予定仮置き、関東農政局との意見交換会 2021 年 4/6(火)予定仮置き、消費者力アップ学習会 8/29(土)12/3(木)2/26(金)予定仮置き
 諸団体との取り組みなど：第 56 回埼玉県消費者大会 10/16(金)埼玉県会館大ホール他、第 1 回ブレ学習会 5/25(月)予定 第 2 回ブレ学習会 7/14(火)予定、平和のための埼玉の戦争展 7/22(水)・23(木祝)24(金祝)、第 35 回埼玉県原爆死没者慰霊式 7/26(日)埼玉県会館小ホール→午後には記念行事予定、さよなら原発埼玉県民集会 8/29(土)さいたま市文化センター大ホール他

令和2年2月5日

埼玉県消費者団体連絡会
代表幹事 様

農林水産省 関東農政局
消費・安全部消費生活課長

令和元年度埼玉県消費者団体との意見交換会開催のご案内

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から農林水産行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、関東農政局では、食や農林水産業に係る各種施策について、コミュニケーションの場を通じ、消費者の方に分かりやすく情報を提供し、施策へのご意見をいただくための取組を実施しています。

今回は、下記のテーマについて、意見交換会を開催しますので、ご案内申し上げます。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、会員の皆様に周知いただくとともに、別紙様式にて出席者30名を目途に取りまとめの上、3月11日（水）までにメール又はFAXにてご返信願います。

なお、当日は、グループ討議を行います。

※ 農産 集約締切 2月29日までに
お願い致します

記

- 1 開催日時 令和2年3月18日（水）午後1時30分～午後4時00分
- 2 開催場所 さいたま新都心合同庁舎2号館11階 防災対策室1、2
＜別添会場案内図参照＞
住所：埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
- 3 情報提供 ①ゲノム編集技術を利用して得られた生物に係る取扱い方針（環境省公表）を受けた農林水産省の対応について
②ゲノム編集技術を利用して得られた食品等の食品衛生上の取扱いについて
③ゲノム編集技術応用食品の表示について
- 4 グループ討議・意見交換

＜問合せ先＞

農林水産省 関東農政局 消費・安全部 消費生活課

担当者：消費者対応班 宮野、片岡

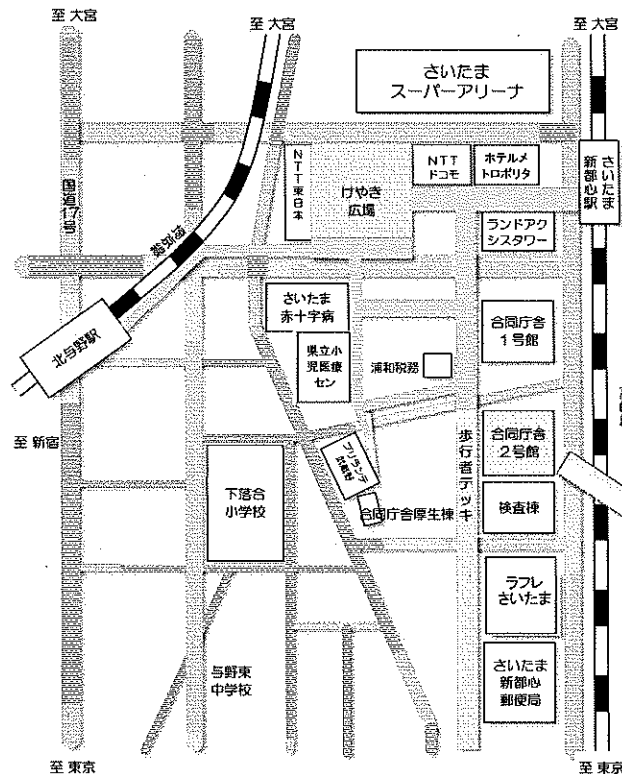
電話：048-740-0358

FAX：048-601-0548

「埼玉県消費者団体との意見交換会」会場案内図

【さいたま新都心合同庁舎2号館 11階 防災対策室1・2】

<さいたま新都心合同庁舎2号館 案内図>



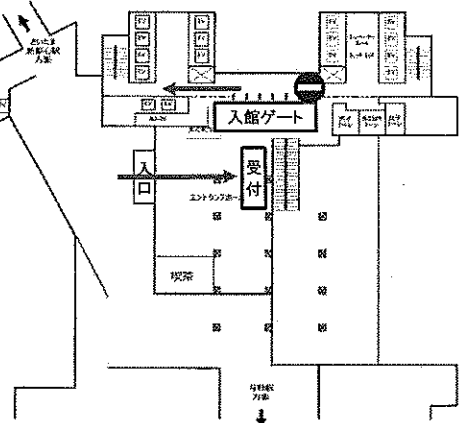
【最寄り駅】

〇 京浜東北線・宇都宮線・高崎線 〇
「さいたま新都心」駅 下車 徒歩7分
(改札を出て左へ。そのまま歩行者デッキを進むと庁舎2階までつながっています。)

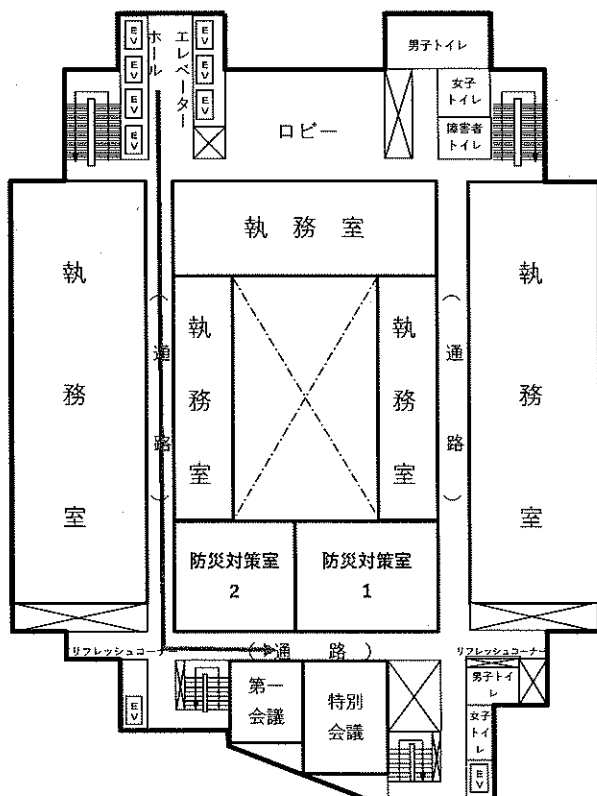
〇 埼京線 〇
「北与野」駅 下車 徒歩10分
(改札を出て右にある階段で2階へ。そのまま庁舎2階までつながっています。)

※ 駐車場には限りがありますので、公共の交通機関をご利用ください。

<合同庁舎2号館 2階 案内図> (エントランスホール)



<合同庁舎2号館 11階 案内図> (関東農政局 防災対策室1・2)



※入館に際しての注意事項

- ・さいたま新都心合同庁舎2号館の2階エントランスホールにて、12時50分から本意見交換会専用の受付を設置します。受付にて一時通行証をお渡しします。
- ・専用受付設置時間を過ぎた場合は、合同庁舎の常設受付で入館手続きを行ってください。
(身分証明書等の提示が必要になります。)
- ・お車でお越しの方は、出庫する際、出庫カードが必要となりますので、受付時にお申し出ください。

【連絡先】

〒330-9722

埼玉県さいたま市中央区新都心2-1

さいたま新都心合同庁舎2号館

TEL: 048-740-0358

担当: 消費・安全部 消費生活課

担当者: 宮野、片岡

埼玉新聞「生協特集」(2020年3月出稿)企画について

2019年12月26日 埼玉県生協連

2020年1月15日・2月7日加筆

1. 提案の趣旨

- (1) 生協特集は、1999年より埼玉新聞を活用し、実施してきました。今年で22年目を迎えます。埼玉県生協連および会員生協の「社会への発信」を实践する場として、今年も継続して実施します。
- (2) 昨年の生協特集では、日本生協連の「コープSDGs行動宣言」を中心にすえ、SDGsの目標ごとに会員生協の取り組みを掲載し、取り組みをアピールしました。今年もSDGsの目標に沿って、会員生協の取り組みを掲載し、埼玉県内での生協の存在価値を発信します。SDGsの目標のうち、地域社会づくりに関する取り組みに特化して掲載、発信します。

2. 提案の内容

(1) テーマ (案)

誰ひとり取り残さない社会を目指して

～地域社会づくりへの埼玉の生協の取り組み～ (仮)

(2) おすすめ方

「地域社会づくり」に関する、おおむね以下の目標に即した活動を掲載します。



掲載項目については、①各生協1～3事例を提示ください

②提示いただいた事例で紙面を編集します

(3) スケジュール

2月27日(木)まで：各生協の事例と画像をお寄せください

3月初旬：掲載事例を検討し、紙面イメージを提案します。その後、入稿

3月中旬：校正にご協力ください

3月25日(水)：発行(予定)

3. 提案の補足

紙面：埼玉新聞広告特集 見開き(カラー)

掲載日：2020年3月25日(水)(予定)

費用：165万円(予定)

第 25 回 JA 埼玉県女性組織協議会との早春交流会報告

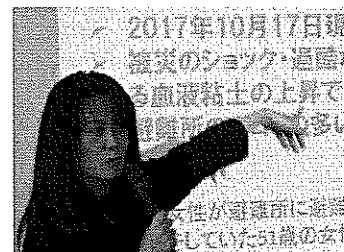
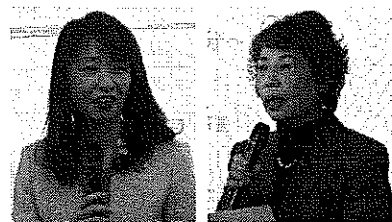
2020 年 2 月 14 日 埼玉県生活協同組合連合会

1. 報告の趣旨

- (1) JA 埼玉県女性組織協議会と埼玉県生協連の交流会は、男女共同参画の推進、協同組合間交流、地域でのつながりを強め、豊かな地域社会づくりのきっかけとすることを目的に、1996 年から実施され、今年で 25 回目を迎えました。
- (2) 昨年の早春交流会で防災プレスレット作りをしたことを受けて、今年は地域での防災・減災について考えることをテーマに学習しました。地域に暮らす多様な人の「違い」に配慮した体制や支援を考える際、女性の視点が大切で、自分たちが担っていかなくてはとの声が出されました。

2. 報告の概要

- (1) 日時 2020 年 2 月 12 日（水）10 時 30 分～14 時
会場 こくみん共済 coop 埼玉推進本部会議室（さいたま市中央区）
参加 JA 女性組織協議会 23 人（JA 埼玉中央 5 人、JA さいたま 10 人、JA いるま野 5 人、事務局 4 人）、埼玉県生協連 23 人（コープみらい 9・パルシステム埼玉 7・医療生協さいたま 2・生協連 2・事務局 3）合計 46 人
講師 NPO 法人男女共同参画おおた理事長 坂田静香さん
- (2) はじめに、県連常務理事の大久保美紀さん、JA 女性組織協議会会長の栗嶋美津江さんよりあいさつがありました。
- (3) 次に講師の坂田静香さんに防災セミナー「地域力を高めて安心・安全な避難所運営 ～高齢者・障がい者・こども・女性など多様な視点に配慮する～」で、グループワークも交えながらお話いただきました。
- (4) 昼食時には防災セミナーを振り返りながら交流しました。その後 JA と生協連から活動報告を行い、グループごとに活動交流を行いました。



3. 参加者の感想

- どんな場においても男女どちらの意見も必要だということを感じました。
- 自治体で役員になったので、女性目線の避難時に必要なことを共有したいです。
- 市で防災リーダーをしています、他地域での実例がとても参考になりました。
- 避難所運営の視点での講演が新鮮でした。
- 地域の防災交流会に参加して、炊き出しは女性、すべてを男性が仕切っていることを目の当たりにしました。自分が何とかしなければと思いました。
- JA 女性協の方に講師としてきていただいて、みそ作り・赤飯づくりなど教えてもらいたい。つながれたらうれしいです。

4. 今後に向けて

今回の振り返りを踏まえて、2020 年度の日程や交流テーマなどについて検討を進めます。



県内消費者団体地区別研修会報告

2020年2月14日 埼玉県消費者団体連絡会

概要：消費者大会環境分科会で学んだ「プラスチックごみの現状と私たちにできること」について、学習を広げたいとの声に応え開催しました。講演だけでなく、自分は何をするかを考えるためワークショップを行い、グループ交流、私の行動宣言をし、家族や団体に広げることを確認して終了しました。4会場で開催、のべ35団体101人が参加しました。

講師：(一社) JEAN 小島あずささん、吉野美子さんに「プラスチックごみの現状を学ぶ ～持続可能な社会をこどもたちに～」と題して講演・ワークショップを行いました。

まとめ：深刻なプラスチックごみ問題は、海なし県に住む私たちの生活と無関係ではなく一人一人が当事者であることを強く認識しました。

日時：1月20日（月）13時30分～16時
会場：熊谷市男女共同参画推進センター
参加団体：6団体15人（事務局を含む）
めぬまぐらしの会、行田市環境市民フォーラム、埼玉母親大会連絡会、コープみらい、埼玉県生協連、埼玉消団連



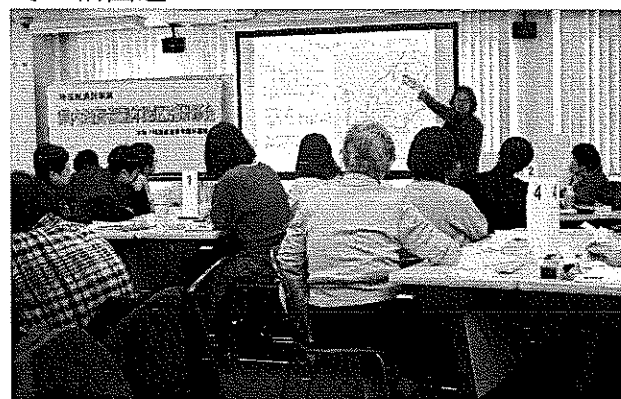
日時：1月28日（火）13時30分～16時
会場：コープみらいコーププラザ春日部
参加団体：9団体29人（事務局を含む）
春日部市ぐらしの会、さいたま市消団連、越谷母親連絡会、県婦連、埼玉消費者被害をなくす会、コープみらい、医療生協さいたま、埼玉県生協連、埼玉消団連



日時：2月7日（金）13時30分～16時
会場：東武バンケットホール上尾
参加団体：11団体32人（事務局を含む）
上尾市消費者被害防止サポーターの会、北本市婦人会、上尾市消団連、桶川市ぐらしの会、コープみらい、医療生協さいたま、上尾市消費生活センター、埼玉母親大会連絡会、さいたま市消団連、埼玉県生協連、埼玉消団連



日時：2月10日（月）13時30分～16時
会場：東上パールビルディング川越
参加団体：9団体24人（事務局を含む）
狭山市消団連、志木市ぐらしの会、西部地区消費者団体活動推進世話人会、コープみらい、生活クラブ生協、埼玉消費者被害をなくす会、新日本婦人の会、さいたま市消団連、埼玉消団連



第 14 回ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会報告

2020 年 2 月 5 日連絡会事務局

日時	2020 年 2 月 5 日(水) 15 時 00 分～ 埼玉県生協連 1 階会議室
参加団体	埼玉県原爆被害者協議会(しらさぎ会)、埼玉県生活協同組合連合会、原水爆禁止埼玉県協議会、埼玉のうたごえ協議会、コープみらい、医療生協さいたま・埼玉県民医連、生活クラブ生協、埼玉県労働組合連合会、聞き書き実行委員会(9 団体 11 人)

1. 田中代表から開会に先立ち、全国の状況や全国交流会の報告も含めて、あいさつがありました。内容は次のとおりです。
NPT 再検討会議に合わせて、日本被団協から 50 人がニューヨークに向かいます。支援いただく各団体からも多くの皆さんがニューヨークに向かう予定です。力を合わせて、現地で核廃絶に取り組みを進めようと思います。
2. 2019 年 11 月 6 日に開催した第 13 回連絡会の報告を事務局から行いました。
3. 首長の賛同状況(県知事はじめ 61 首長)、県議会の賛同状況について確認をおこないました。富士見市長から署名をいただいていることが確認でき、残りは小川町長となりました。しかし、2017 年の首長署名の取り組みの後に、選挙により首長が交代した自治体があるとの指摘がありました。現状を確認し、進め方を検討することになりました。
4. 各団体からの活動報告を行いました。活動報告の抜粋は次のとおりです。
 - 署名の取り組みの一つとして、寺院、カトリック教会への署名の呼びかけを各地で行うことを提案しています。ローマ教皇のスピーチもあり、反応が良いと聞いています。各団体でも取り組んでみてはどうでしょうか(埼玉原水協)。
 - NPT 再検討会議に派遣する人を中心に、事前学習を開催しています。参加後は各地で報告会を予定しています(医療生協さいたま・民医連)。
 - NPT 再検討会議へは 2 人を派遣します。4/9 に壮行会を開催し、現地で活用するグッズを作成する予定で、署名についても集中してこの期間に取り組みます。3 月に行う沖縄への平和の旅参加者に向けても、事前学習会で NPT 再検討会議についての学習を行う予定です(コープみらい)。
 - 生協が行う各種イベントやお店の前で、ヒバクシャ国際署名に取り組んでいます。繰り返し行うことが大切だと思っています(聞き書き)。
 - 団体としてまとまった行動は難しいが、メンバーが各地の取り組みに参加して署名行動を行っています(うたごえ協議会)。
 - 3 割の組合員の皆さんから署名をいただき、累計で 1 万人に達しました。今年は春から連続して署名を配布するなど取り組みを計画しています。
5. 「ヒバクシャと出会うカフェ」の申込用紙は、しらさぎ会の確認が取れ次第、メールで発信することを確認しました。

6. 次回日程

4 月 15 日(水) 15:00～埼玉県生協連・会議室

2019 年度 埼玉県生協連 活動日誌

月日	会議・行事名称（主な議題・活動内容など）
12/2	中央地連 MCA 無線訓練 埼玉消費者被害をなくす会消費者力アップ学習会
/3	平和のための埼玉の戦争展常任委員会
/4	埼玉母親大会常任委員会
/5	消費者被害防止サポーター養成講座（蓮田）
/9	第 6 回地域包括ケアを推進するためのネットワーク会議
/10	日本化学工業協会消費者対話集会
/11	埼玉県議会自由民主党議員団との懇談 平和・市民 5 団体懇談会 さよなら原発埼玉県民集会第 5 回実行委員会 第 2 回消費者被害防止サポーターフォローアップ研修・交流会(飯能)
/12	組合同活動交流会 第 3 回活動委員会
/13	中央地連大規模災害対策協議会都県連交流会 埼玉消費者被害をなくす会第 6 回活動委員会 国民生活センター消費生活サポーター研修 全国消費者大会第 3 回実行委員会 全国消費者団体連絡会理事会・運営委員会
/16	埼玉県議会無所属県民会議との懇談 埼玉県婦人問題会議
/17	埼玉県協同組合間提携推進協議会代表者会議
/18	埼玉県議会公明党議員団との懇談
/19	日本共産党埼玉県議会議員団との懇談 埼玉県消費者団体連絡会幹事会 埼玉消費者被害をなくす会 12 月検討委員会
/20	コープデリ連合会防犯・防火・防災会議
/22	第 41 回ユニセフハンド・イン・ハンド
/26	第 3 回常務理事会 日本生活協同組合連合会から埼玉県への台風 19 号被害緊急支援募金贈呈式
1/7	第 4 回監事会 神奈川県生協連新年賀詞交換会 埼玉新聞社 2020 新年賀詞交換会 埼玉母親大会常任委員会
/9	埼玉司法書士新年賀詞交歓会 埼玉消費者被害をなくす会第 7 回活動委員会
/10	埼玉県消費者団体連絡会幹事会
/14	日本生協連全国方針検討集会（～15 日） 日本生協連 2020 年賀詞交歓会
/16	第 4 回理事会

	埼玉県生協連 2020 年新春賀詞交換会
/17	助け合い活動交流会
/20	県内消費者団体地区別研修会（熊谷） 憲法 25 条埼玉集会実行委員会
/21	第 10 回九都県市合同防災訓練・図上訓練
/22	消費者被害防止サポーター養成講座（横瀬） 埼玉協同・連帯ネットワーク新春合同賀詞交歓会
/23	栃木県生協連創立 50 周年記念祝賀会
/24	埼玉消費者被害をなくす会第 3 回理事会・1 月検討委員会 埼玉県労働者福祉協議会第 7 回理事会 消費者被害防止サポーター養成講座（小川）
/26	埼玉県原爆被害者協議会新春のつどい
/27	消費者被害防止サポーター養成講座（医療生協さいたま）
/28	中央地連第 4 回運営委員会 第 4 回県連活動推進会議 県内消費者団体地区別研修会（春日部） 消費者被害情報収集 110 番
/30	3.11 を忘れない埼玉集会 2020 埼玉県食品安全局と消費者団体との懇談 埼玉消費者被害をなくす会講座等支援チーム会
/31	埼玉県プラスチック問題対策協議会
2/3	中央地連 MCA 無線訓練 埼玉県と埼玉消費者被害をなくす会との協議会
/4	院内集会「実現させよう！公益通報者保護法の実効的改正」
/5	平和・市民 5 団体懇談会 ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会 CSF(豚コレラ)学習会 埼玉母親大会常任委員会 埼玉消費者被害をなくす会 DeNA 訴訟判決
/6	パルシステム生活協同組合連合会熊谷センター開所式 埼玉消費者被害をなくす会第 8 回活動委員会
/7	県内消費者団体地区別研修会（上尾） 毎日政経文化セミナー 日本弁護士連合会と適格消費者団体との懇談会
/8	第 18 回 With You さいたま フェスティバル
/10	県内消費者団体地区別研修会（川越） 消費者被害防止サポーター養成講座（小川）
/12	JA 埼玉県女性組織協議会と埼玉県生活協同組合連合会との第 25 回早春交流会
/13	第 2 回大規模災害対策協議会全体会議 「輸入食品って安全なの??」学習・意見交換会
/14	第 4 回活動委員会 消費者被害防止サポーター養成講座（鳩山）
/17	彩の国埼玉環境大賞表彰式 大学部会 フードパントリーネットワーク会議

/18	埼玉県消費者団体連絡会幹事会 消費者委員会懇談会
/20	埼玉県と埼玉県生活協同組合連合会との第2回定期協議
/21	こくみん共済第2回共済代理店等推進会議 全国消費者大会第4回実行委員会 「預託商法の法整備について」学習会 全国消費者団体連絡会理事会・運営委員会
/22	エコ・リサイクル交流集会2020
/25	全国消費者フォーラム
/26	埼玉消費者被害をなくす会2月検討委員会
/27	第4回常務理事会
/28	第2回組合員学習会 第2回消費者被害防止サポーター全体研修会・交流会（さいたま）
3/2	埼玉消費者被害をなくす会消費者力アップ学習会
/4	第5回監事会
/5	賀川豊彦記念館訪問研修 消費者被害防止サポーター養成講座（小鹿野）
/10	埼玉消費者被害をなくす会第9回活動委員会
/12	第5回理事会
/13	第58回全国消費者大会
/14	適格消費者団体連絡協議会（～15日・佐賀）
/18	埼玉県消費者団体連絡会連幹事会 関東農政局と消費者団体との意見交換会
/19	平和・市民5団体懇談会
/24	埼玉消費者被害をなくす会第4回理事会 埼玉県消費者被害をなくす会3月検討委員会
/25	埼玉県ユニセフ協会理事会・評議員会 埼玉消費者被害をなくす会講座支援チーム会
/26	中央地連第5回運営委員会 2020年中央地区総会議案検討会議
/27	第56回埼玉県消費者大会第1回実行委員会